

平成29年度(2017年度)第2回三者懇談会（吹田市立藤白台保育園）

- 1 開催日時 平成29年10月28日(土) 午後5時～午後6時15分
- 2 開催場所 藤白台保育園 遊戯室
- 3 出席者 藤白台保育園保護者会会長、外部交流（民営化）担当2名、その他保護者13名
社会福祉法人耕心会（耕心会理事長、吹田くすのきこども園主幹保育教諭、吹田くすのきこども園副施設長（事務長）、吹田くすのきこども園主事）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室係員、藤白台保育園長、藤白台保育園長代理、藤白台保育園保育士）
- 4 議題 1 出席者紹介
2 要望及び考え方について
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第2回三者懇談会を開会いたします。はじめにお手元の資料確認をさせていただきます。

（資料の確認）

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様について御紹介させていただきます。

3 要望及び考え方について

吹田市： 要望及び考え方について、にまいります。

前回の三者懇談会において、事前に御意見をいただき、それに対する考え方をお答えしながら議論を進めていくことにいたしました。今回、いただいている御要望に対して、回答いたします。

（吹田市から回答）

（社会福祉法人耕心会から回答）

吹田市： ありがとうございます。回答をお聞きして、またそれ以外でも構いませんので御意見や御質問はありますでしょうか。

会 長： 本日いただいた回答に対して細かいことを申し上げるのではなくて、保護者会として大きな視点で皆様にお話をしたいと思います。合同保育は来年度からですが、それに先立ちまして藤白台保育園と耕心会の間ですでに引継ぎを始めているとお伺いしております。保護者会としては、今年度からの2園会議や来年度からの合同保育を通じて確実に引継ぎを行っていただきたいと思います。

引継ぎを進めていくなかで、耕心会から新たな提案があると思います。今回の回答でも、家庭訪問や写真販売について変わる可能性が示唆されました。変更の可能性がある場合には、保護者間で協議をする時間を設けたいので、できるだけ早めに保護者に知らせてほしいと思います。

引続き、子どもたちや保護者達にとって、より良い保育をしていただくようによろしく願いいたします。

保護者： 民営化するメリットとして、機動性と効率性を挙げていました。効率性については、無駄を少なくすることですが、公立が運営する場合の無駄について、どのように考えられていますか。

耕心会： 実際に合同保育をする中で分かってくると思っています。一例を挙げますと、多くの保育所では書類業務が非常に多いために、保育士の勤務時間が増えているという実態があります。吹田くすのきこども園では、タブレット使用などのICT化を進めて、保育士の事務処理を軽減することによって、子どもたちの保育に専念できるような環境を整えています。

また、保育士が働きやすい環境作りという点では、職員配置も工夫しています。多めに職員を雇用しており、基本的に通常の配置基準よりも1人多い職員配置をしています。保育士が研修に行ったり休みを取っても対応できますし、通常時には1人浮いた保育士がフリーとして柔軟に動くことができます。このフリー保育士を活用して、書類作成の時間や会議時間を確保しています。こういったことをしながら無駄を省く工夫をしています。

保護者： 今お話しいただいたことは、公立では不可能なのでしょうか。公立で実行可能

なことのようにも思えるので、それ以外で民営化によるメリットがあるのであれば教えてください。

吹田市： 民営化して私立保育所になれば、国や府の補助金をそのまま保育に使うことができます。公立保育所は吹田市の予算を使うこととなりますが、保育所だけでなく、学校や道路、環境整備など様々なところに振り分けていかなければいけません。藤白台保育園を見ていただくと分かりますが、築40年以上経っても建替えができていません。市の施策に優先順位があって、改修工事もなかなかできませんし、先ほどのICT関係の予算も確保できない状況です。

私立であれば事業者の判断で保育事業に予算を使うことができるので、建替えや改修は行いやすいです。吹田市内の古くからやっておられる私立の保育所や子ども園の園舎は建替えが進んでいて、40年以上経過している園はありません。そういったことが、子どもたちの過ごしやすい環境にもつながってくると思います。

保護者： 合同保育の担任予定者は移管の3か月前から訪問することになっており、それ以前に来てもらうためには、市や藤白台保育園との協議が必要とお答えいただきました。この協議について、どのように進めていくのか教えてください。

それとフリー保育士の配置についてです。加配はフリー保育士が担当するのでしょうか。この方とは別に専属の職員がいるのか教えてください。

吹田市： 合同保育の担任予定者は移管の3か月前からとなっていますので、その期間しか補助金をお渡しできません。それを超える期間に来ていただくのであれば、耕心会の費用負担が発生しますので、その点について耕心会に御判断いただく必要があります。

また、実際に保育士を派遣する吹田くすのき子ども園の職員体制の問題もあります。本園でしっかりと保育をしていただき、職員配置基準を守ったうえで保育士に来ていただかないといけません。合同保育が始まって、職員体制が確定しないと判断が難しい部分があると思います。

藤白台保育園としても実際に保育をしていますので、何人くらいがどの時間帯に来れば、受け入れが可能なのか判断しなければいけません。通常の保育に支障のない範囲で来ていただくために協議をしていく必要があると思っています。

耕心会： 配慮が必要な子どもに対しては丁寧に関わっていき、信頼関係を築いていく必要がありますので、専属に配置いたします。それとは別にフリー保育士が別の役割を担います。

保護者： 吹田くすのきこども園の保護者会について教えてください。知り合いの方から、「あの園は保護者の負担がとても軽くて、私はとても良かった」という話を聞いたことがあります。運営委員会をどの程度の頻度で行っているのか、年間行事はどのようなものがあるのか、クラスで運営委員を何人選出してそれ以外の方はどのような役割をしているのかなどを教えてください。

耕心会： 吹田くすのきこども園は開園して6年目になります。開園するにあたり、保護者の方に安心して働いていただくことを最優先に考えました。その際に、園内で色々な活動があると保護者の方にとって負担ではないかと考え、その考えが保護者の方とも一致したという経過がございますので、今のところ保護者会はありません。運営委員さんもおられません。

ただ、保護者の方が集まって何かをしたい等の要望がありましたら、その時は園を開放するなど、協力させていただいています。

保護者： まず、合同保育と引継ぎ保育の内容についてです。それぞれ常勤で参加し、藤白台保育園で保育を行ってくれるのでしょうか。

次に、先ほどお話があったフリー保育士についてです。園をまたいで保育を行うようなフリー保育士はいるのでしょうか。

吹田市： 合同保育と引継ぎ保育の仕組みについて簡単にご説明させていただきます。合同保育は移管の1年前から実施いたします。園長予定者は、移管1年前の4月から随時来ていただきます。主任保育士とクラス担任の代表者、計2名は移管1年前の4月から毎日来て保育に入っていただきます。その状態が12月まで続きまして、翌年1月になりましたら、さらに残りのクラス担任の方に3か月間毎日来ていただきます。その他に看護師と調理員も3か月間来ていただき、引継ぎをしていくことになります。

引継ぎ保育は移管後に行います。移管を行い、耕心会が運営する園になった後に、吹田市から園を訪問して保育状況を確認します。元園長等が1年間、乳児担

当の保育士2名が6か月間、幼児担当の保育士1名が3か月間かけて行います。

したがって、合同保育に参加する保育士は、常勤として毎日保育を行うこととなります。

耕心会： 園をまたぐフリー保育士についてです。まだ、そこまでは考えていませんでした。保育そのものを行うことは難しいと思いますが、藤白台保育園と吹田くすのきこども園での連携や意見交換は重要と思っています。2園の良いところを共有しながら園運営を行っていくことは大事だと思っています。

保護者： パート・アルバイトの先生がどのくらい残ってくれるのか不安に思っています。先行している南保育園のパート・アルバイト職員の方とどのようなお話をされて、実際にどれくらいの方が残ってくれることになったのか教えてください。

また、南保育園ではこれまでに様々な課題が発生して、色々と苦労された経過があったと思いますが、その点についてお話をさせていただき、耕心会と情報共有をしていただきたいと思います。

吹田市： 南保育園の状況についてお伝えします。10月17日に第6回の三者懇談会を実施し、こばと会からパート・アルバイトの雇用状況についてご説明がありました。パート職員10名、アルバイト職員6名の方から履歴書の提出をいただいたとのこと。

こばと会は、パート・アルバイト職員に対して個別に面談や条件提示を行ってきました。こばと会で働いている非常勤職員とのバランスがあるので、アルバイト職員への条件提示に苦労したと聞いております。最終的には、ボーナスの有無などの違いを考慮して、こばと会の非常勤職員の待遇とそれほど変わることなく、かつ、現在のアルバイト職員の日給をあまり下回らないような条件を提示していただきました。パート職員についても、個別に希望条件を聞きながら対応していただきました。

こばと会に、こういった努力をしていただいた結果、多くの方から良いお返事をいただけたと思っています。

耕心会： 耕心会としても多くの方に残っていただきたいと思います。これから個人面談を予定していますので、真摯に対応していきたいと思っています。

吹田市： 私たち園の職員は去っていく立場です。子どもたちをパート・アルバイトの先生たちをお願いしたいので、引き続き働いていただけるように私たちからお伝えするつもりです。

南保育園の園長からは、パート・アルバイトの先生たちにそういった思いを伝えていったことが大きかったと聞いています。パート・アルバイトの先生も悩んでいると思いますので、保護者の方からもその思いを伝えていただければと思います。

保護者： 合同保育の引継ぎ方法についてです。クラス担任の代表者1名が1年間参加すると説明をしていただきましたが、その方は全クラスに1年間かけて入るのか、それとも移管後の4月から担当するクラスにずっと1年間入るのでしょうか。

私の子どもは民営化時に4歳児でスタートです。これまで公立保育所に11年間お世話になってきましたが、4歳児の担任が5歳児にそのまま上がるということを経験してきました。クラス担任の代表者が1年間4歳児のクラスに入れば、4歳児の子どもたちと様々な経験をして1泊保育を迎えることができます。3か月だけ来られた方が1泊保育の対応をするのは大変だと思います。他の園がどうなっているのかわかりませんが、私自身はずっとそのように子どもを預けてきたので、1年間参加されるクラス担任の代表者がどのクラスに入るのか気になっています。

吹田市： 南保育園の合同保育では、2園会議を行って主任予定者とクラス担任の代表がどの月にどのクラスに入るのか年間計画を作成しました。ただ、クラスが決まっても、ここを見てほしいという部分があればその点は考慮します。例えば、南保育園は2歳児から3歳児に上がる際に部屋が1階から2階に移ります。そういった部分はしっかり見てほしいですし、3歳児クラスに入っている4歳児がクッキングをしていたら見に行ってもらいます。遠足にも参加してもらいます。そういった形で2人に全てのクラスを見せようようにしています。

ただし、これは南保育園のやり方です。藤白台保育園でどのようにしていくのかはまだ話をしていないので、2園会議を行いながら決めていくことになります。決まった内容については三者懇談会等の場でお伝えしていきます。

吹田市：他に御意見・御質問がないようでしたら、これで終了とさせていただきます。
次回の開催につきましては、耕心会と保護者会長様と調整させていただきます。
本日は遅い時間まで御参加いただき、ありがとうございました。